



母子健康手帳の予防接種のページ

答 風疹感染は20代、40代の男性が8割を占めている。妊娠中は接種ができないため周囲の協力が必要。接種の呼び掛けや注意喚起に取り組む。

◆生活環境を守るについて

問 新型ウィルスや薬剤耐性ウィルス・食中毒対策は。

(西條)

答 「塩尻市新型インフルエンザ対策行動計画」の見直し、衛生管理方法の継続・強化徹底をする。

◆安心して生み育てられる環境について

問 風疹の大流行で、ワクチン接種費用補助を。妊婦の夫や妊娠を希望している女性への無料化は。

(西條)

答 予防接種の呼びかけ等の取り組みを強化する。



現在は電子化されている例規集

第五次 総合計画策定 に向けて

◆塩尻市金銭物品等の寄付募集に関する条例について

問 制定から50年以上が経ち時代に即していないこの条例を廃止してはどうか。(宮田)

答 廃止の方向で検討する。

◆職員の資質向上を目指して

問 係長クラスの民間への、短期社外研修を。(宮田)

答 係長として、研修の目的・場所を検討はしている。

問 多面評価制度を導入してはどうか。(宮田)

答 メリット・デメリットを含め、今後研究する。

◆監査体制の強化を

問 監査の事務局体制は、県

下の中でも大変脆弱だ。大丈夫か。(横沢)

答 行政評価を高めたので、これまで以上に監査機能が強化されたと考えている。しかし事務局体制については、今後検討していきたい。

◆選挙権は最も重要な権利

問 成年後見制度利用者の選挙権について対応は。(山口)

答 公職選挙法の改正により選挙権は回復された。投票所の入場券が発行される。

◆憲法96条改正について

問 安倍首相は憲法96条を改定し、改憲発議の要件を「2/3以上」から「過半数」に緩めようとしている。主権者である国民が、国家権力を縛るために一般の法律より厳しい手続きとしているものだが、憲法96条改正について市長の考えはどうか。(柴田)



塩尻市社会福祉協議会事務所に設置された塩尻市成年後見支援センター

答 国の最高規律である憲法の改憲発議の要件を2/3以上とすることは必ずしも厳しい条件ではないと考える。



活性化に取り組む大門商店街

◆市長の政治姿勢と総合計画

問 第四次総合計画で目指した姿と現実と乖離があると思う。組織や適材適所に問題があったのでは。市長でなければ出来ない反省を次期計画策定に活かしてほしい。(青柳)

答 第五次総合計画では、事業の重点化、スマート化、行政の役割など明確にし、選択と集中を図るなど戦略的な策定方針を定めたところだ。

問 市長が市民との対話を重視して始めた飛び込み市民会議は、23、24年度とも開催ゼロだ。言葉は多くても伝わってくるものが乏しい答弁だと云わざるを得ない。(青柳)